

あ・そ・ま・な

— 特集 — 四季折々の新宿御苑 探検してみよう！



新宿区のマーク



風景式庭園からの景色（写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」）

～新宿御苑基本情報～

- 【料 金】一般 500 円、65 歳以上・学生（高校生以上）250 円※証明書要提示、小人（中学生以下）無料
【定 休 日】毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
※ 3 月 25 日～4 月 24 日、11 月 1 日～15 日の期間は、月曜日も休まず開園
【営業時間】[10/1～3/14] 9:00-16:00（閉門 16:30）※季節により変動
【注意事項】酒類持込禁止、喫煙禁止、遊具類使用禁止（こども広場除く）
詳しい新宿御苑基本情報等は下記 HP をご参照ください。
http://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/2_guide/guide.html

農業体験 田植えから稲刈りまで

初めてカマを持つ子どもたちがほとんど。
稲穂の束をしっかりと握って「ザックザック」と手前に引いて刈る。
みんなすぐにコツをつかみ稲刈りの感触を楽しみました。普段食べているお米が育つまでの大変さに
気づくとより美味しくご飯が食べられるね！
※ 5 月末田植え～ 10 月稲刈り～ 11 月脱穀～そしてお米へ～



農業体験 収穫祭

令和 5 年 11 月 26 日（日） 時々

～ここ・から広場にて～ 参加親子 47 名、委員・講師等 28 名 計 75 名

農業体験の締めくくりとして、参加している小学生と保護者が参加しました。



メニュー

- ・ご飯（米）
- ・天ぷら（サツマイモ・春菊）
- ・とん汁（サトイモ・人参・大根）
- ・ポテトサラダ（じゃがいも・人参・フリルレタス）
- ・いためもの（チンゲン菜）
- ・菊の花（菊）
- ・おしんこ（カブ・人参）
- ・落花生

自分たちで育てた作物を、みんなで美味しくいただきました

「収穫祭おしまい ぐちそうさまでした！」

親子自然体験 in 秩父・長瀬

令和 5 年 10 月 14 日（土）

213 組の応募があり、厳正なる抽選の結果、18 組 36 名が当選しました。

午前 7:30 出発



「あいさつ さー出発です！」

埼玉県立自然の博物館



親子で見学 面白い発見がありました



ライン下り体験 あ～気持ちよかったね



あ～おなかいっぱい おしゃべりタイムですの おいしいね～



紙すき体験 一人ひとりですの 後日、紙が届きました



終了・解散

みんないい思い出 天気も良く、親子で一日楽しかったの たいま～

お問合せ 新宿区青少年活動推進委員会では「あ・そ・ま・な」に対するご意見、ご感想や情報提供を 電話・ファックスにて受け付けております。お気軽にお寄せください。

TEL：03-3232-0695 FAX：03-3232-0666
発行日：令和5年12月12日 編集：新宿区青少年活動推進委員会
発行：新宿区青少年活動推進委員会 〒160-0022 新宿区新宿七丁目3番29号
新宿区立子ども総合センター 子ども家庭支援課子育て支援係（事務局）

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

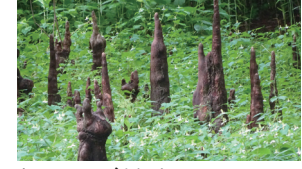


四季折々の新宿御苑 探検してみよう！



01

ラクウショウの気根



根っこが地中からによきによきと生えているよ！

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」

02

雪景色



雪のひろばに足あとつけてみたいな。

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」

03

旧御涼亭



台湾の木が使われた中国風建築物だよ。

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」



04

温室



2012年に生まれ変わった温室、見に来てね！

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」

07

風景式庭園の梅



早春の梅、いい香りがするよ

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」

05

ユリノキ



大きな木、太さをみんなで測ってみよう！



花は5月ごろに咲くよ。

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」

06

整形式庭園から



落ち葉の道をカサカサ歩いてみよう。



バラは1年に2回咲くよ。

写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」

新宿御苑の歴史

新宿御苑の始まりは、江戸時代に徳川家康から内藤家が賜った屋敷地です。明治維新後、国営の農事試験場となり、その後宮内省の御用地となりました。明治39年に皇室庭園として開園した後、昭和24年に国民公園として一般公開されました。



出典 一般財団法人国民公園協会ホームページ (<https://fng.or.jp/shinjuku/gyoen/history/>) (<https://fng.or.jp/shinjuku/2023/06/03/20230603-01/>)

新宿御苑での【絶滅危惧種】の保護活動

特定の場所でしか生息できない動植物たちが、開発や密猟、地球温暖化などによってもたらされる自然遷移などによって急激に数が少なくなっています。

新宿御苑では、国のレッドリストに記載されている絶滅危惧種約140種について栽培を行っているほか、2008年10月から絶滅危惧植物の種子保存を（公社）日本植物園協会と連携して行っています。

野生の植物が失われても、種子から栽培して増やしたり、自然に戻したりと、研究・保護活動への活用が期待されています。

(種子保存例)
イソスミレ、エンビセンノウ、キキョウ、タコノアシ など



新宿生まれのはちみつ

新宿御苑は明治時代に日本で初めてセイヨウミツバチが飼育された場所です。ミツバチは半径およそ2～3kmの花から蜜を集めて、ハチミツをつくります。新宿御苑をはじめ近辺には、公園や街路樹もたくさんあり、季節ごとにいろんな花を咲かせる植物が豊富にあります。

養蜂所

ハチミツやミツロウ、花粉をとるためにミツバチを飼育することを養蜂といいます。新宿区内では、四谷区民センター9階テラス（ガラス越しに安全に見学できます）、新宿区立障害者福祉センター、パークシティ・イセタンⅡで養蜂をしています。

新宿生まれのはちみつ

2019年に新宿区障害者福祉事業所等ネットワークが「しんじゅ Quality みつばちプロジェクト」を開始し、地域の方々と交流しながら養蜂を行っています。

販売場所

- ・ふらっと新宿 各所
- ・漱石三郎記念館 カフェソウセキ
- ・新宿区立障害者福祉センター 喫茶ふれんど

